

一学校教育目標一

豊かな心をもち

自ら学ぶたくましい子

- (1)よく考えねばり強く学ぶ子
- (2)心豊かで思いやりのある子
- (3)すすんで体をきたえる元気な子

学校便り

第10号

H30年5月16日(水)

那覇市立

仲井真小学校

発行責任者

校長 宮里 寧

TEL 917-3330

仲井真っ子

豊年満作を願い

5年生全員で田植えが始まる！



皆さん、仲井真小学校に「田んぼ」があるのはご存じですか？昨日15日（火）5校時、本校の田んぼに5年生の児童によって苗が植えられました。

講師に「翁長」先生をお招きしての学習です。5年生の全児童が植え付けの体験をします。都会の生活ではなかなか味わうことの出来ない貴重な体験をすることになりました。低学年の中には「田んぼって何？」と尋ねる子もいました。

主食のお米がどのように育っていくのか今後素晴らしい学習ができそうです。楽しみが増えました。ちなみに「稲作活動」の流れはご存じですか？

簡単に紹介します。（1）苗づくり（年明けと同時）→（2）田おこしと田踏み（田おこしをして水を入れて土を細かくする）→（3）田植え（本格的に生長させるために苗を田んぼに植える）→（4）田草取り（田草取りと同時に追肥する・田植えから1ヶ月後）→（5）ネット張り（稻の生長に合わせ、水を入れる量を調整する。土が見えないよう、かつ苗が水没しないよう注意する。）→（6）稲刈り・脱穀（鎌で稻を刈り取る。落穂拾いも行う。脱穀機にかけて穂をとる。）→（7）天日干し（天気の良い日、二日間、天日干しをする。）→（8）もみすり・精米（もみすり機にかけ穂殻を取り玄米にする。黒米は玄米でとめる。糠（ぬか）を取り白米にする。）以上、8つの工程を経て、私たちの口に入ります。この活動の流れは、私が琉大附属小学校と若狭小学校に勤務している頃に講師に来ていただいた元校長先生の「上里昭夫先生」に教えていただきました。もう、18年も前になります。なんと、翁長先生と上里先生は一緒に活動されているそうです。不思議な縁を感じました。

きっと、7月は、仲井真小学校の田んぼにたくさんの稻穂が実っていることだと思います。

